

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービス
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=米PCEデフレータの弱い伸びを警戒

2024年6月24日

28日21時半に5月の米個人消費支出(PCE)デフレータが発表されます。米国のインフラターゲットの対象指標として注目を集める指標となっています。

前回4月のPCEデフレータは前年比+2.7%、変更の激しい食品とエネルギーを除いたコア前年比が+2.8%となりました。ともに3月と同水準の伸びとなっています。前月比は+0.2%と3月の+0.7%から鈍化。コア前月比も+0.2%と3月の+0.3%から鈍化しています。また、FRBが重視しているとされる住宅とエネルギーを除いたサービスPCE、いわゆるスーパーコアは前月比+0.3%となり、こちらも3月の+0.4%から鈍化しました。

予想通りとはいえ、前年比で伸びの鈍化が見られなかったことに少し警戒感がありましたが、前月比の鈍化から、物価上昇圧力低下期待が広がりました。

関連指標でもある今月発表された5月の米消費者物価指数(CPI)と米生産者物価指数(PPI)はともに弱い結果となっています。

CPIは前年比+3.3%と4月の+3.4%から鈍化。食品とエネルギーを除いたコアCPIは前年比+3.4%と5月の+3.6%からこちらも鈍化しています。

内訳をみますと、4月から5月にかけて米のガソリン小売価格が低下したことで、ガソリンが前月比-3.6%と鈍化しました。もっとも2023年4月から5月の価格低下がより厳しかったこともあり、前年比ではプラス圏です。前回弱かったのは中古車・トラックで前年比-9.3%、新車0.8%といったところ。供給体制の改善、販売ディーラーの販売促進などが価格低下につながりました。

住居費は2カ月連続での伸び鈍化も、水準は5.4%と高水準を維持しています。このところ上昇が目立っている自動車保険は前年比+20.3%と6カ月連続で前年比20%超えとなり、同部門を含む輸送サービスも+10.5%となりました。

PPIは前年比+2.2%と4月の+2.3%(2.2%から上方修正)から鈍化。市場予想は+2.5%へ伸びが強まる見込みでした。食品とエネルギーを除いたコアは前月比横ばい、前年比+2.3%とこちらも予想の+0.3%、+2.5%を下回る伸びとなっています。

また、PPIのうちPCEデフレータの算出に利用される項目に弱さが目立っていました。航空運賃が前月比-4.3%、ポートフォリオ運用サービスは-1.8% 診察料は横ばいとなっています。

こうした状況からPCEデフレータは弱めの伸びが見込まれます。市場予想は前月比横ばい、前年比+2.6%と、4月から伸びが鈍化見込みです。コアPCEも前月比+0.1%、前年比+2.6%と伸びが鈍化見込みです。

12日の米連邦公開市場委員会(FOMC)でのFOMCメンバーによる経済見通し(SEP)で示された2024年第4四半期の物価見通しはPCEが前年比+2.6%、同コアが+2.8%となって

います。この予想は12日の米CPI発表後に最終締め切りとなりましたが、パウエル議長は会見でCPIを受けた更新をほとんどのメンバーが行っていないことを示唆しています。またPPIは予想発表後の結果発表のため含まれていません。このあたりを考慮すると、PCEデフレーターで物価の鈍化がしっかり示されると、FOMCで示された年内1回の利下げという見通しはややタカ派すぎるという可能性が意識されます。

予想前後もしくはそれ以下の伸びにとどまった場合、9月の利下げ開始期待と、年内複数回利下げ開始期待から、ドル売りが強まる可能性があります。

米国以外の材料としては30日に予定されているフランス総選挙第1回投票があります。

各選挙区での決選投票まではっきりした結果が分かりませんが、世論調査動向をみると、マクロン大統領率いる与党連合は大敗を喫する見込みとなっており、獲得投票率などから厳しい状況ははっきりとすることで警戒を誘う可能性があります。

なお、最新世論調査動向をみると、欧州議会選挙でも躍進した極右国民連合が現有の88議席から220 – 250議席に議席数を伸ばし、第1党となる見込み。マクロン大統領率いる与党連合は現有の248議席から95 – 130議席まで議席を減らす見込みで、左派連合が現有の155議席に近い135 – 165議席を確保して第2勢力となる見込みとなっています。

与党連合のかなり厳しい状況が示され、フランス政局の混乱が予想されることでユーロ売りの動きが強まる可能性があります。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシーズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシーズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシーズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシーズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。